

平成25年度高体連宇部支部新人バスケットボール大会 決勝戦評

- 期 日 平成25年7月21日(日)
- 会 場 [男子] 宇部工業高校 [女子] 宇部工港
- 戦 評
男子決勝 宇部工ー小野田工

1Q 両者マンツーマンでスタート。宇部工多彩な合わせや#5のインサイドで次々に得点していく。対する小野田工はパッシングオフェンスで対抗するが、最後のシュートが決まらず、1Q 無得点。23-0で1Q終了。

2Q 宇部工インサイド、アウトサイドとバランスのとれた攻撃で得点を重ねていく。小野田工はパッシングオフェンスから1on1を果敢に仕掛け得点する。49-9で2Q終了。

3Q 宇部工2Qとかわらず、中・外のバランスのとれた攻撃で次々と加点していく。小野田工は果敢に1on1を仕掛けるものの。宇部工のディフェンスに阻まれて思うように得点がおぼろげで66-18で3Q終了。

4Q 宇部工はディフェンスで相手のミスを誘い、ブレイクで次々に得点する。対する小野田工は#7、#8の3Pで追いすがると、メンバーを総入れ替えした宇部工も元気にプレーし、得点を重ねていき、85-35で試合終了。宇部工が勝ったものの、最後まで諦めずに戦った小野田工の健闘を称えたい。

女子決勝 慶進 v s 宇部商

1Q、両チームマンツーマンで試合開始。慶進、フォーメーションからゴール下で初得点。宇部商健闘するも慶進の激しいオールコートマンツーマンに攻めの糸口が見付からず残り3分T.O。だが慶進の勢いは衰えず流れは変わらない。27-11で1Q終了。

2Q、慶進、圧巻の運動量でDFを寄せ付けず開始1分半で10得点を決める。宇部商、厳しいプレスにも諦めず果敢に攻めるがなかなか点につながらない。60-19で2Q終了。

3Q、宇部商、点差に流されることなくひたむきにゴールを目指す。パッシングオフェンスの慶進に宇部商はオールコートディフェンスで対抗するが、要所を抑えられ得点を許してしまう。86-26で3Q終了。

4Q、メンバー交代をしない宇部商、スタミナのハンデがありながらも先制点を奪う。しかし、終始慶進のペースで試合は進み、98-37で試合終了。圧倒的な強さを見せた慶進であったが、最後まで粘り強く戦い抜いた宇部商の健闘を称えたい。